

千葉県東総文化会館指定管理者管理運営状況評価

1 概要

(1) 施設名等

施設名	千葉県東総文化会館
指定管理者	公益財団法人千葉県文化振興財団
指定管理期間	平成28年4月1日から令和3年3月31日まで（5年間）
評価対象年度	令和2年度
第三者評価の有無（今回）	無
施設所管課	環境生活部県民生活・文化課

(2) 施設の設置目的等

設置目的	県東部地域における県民文化の拠点として、地域における文化活動支援や鑑賞機会の拡充を図る。
指定管理者が行う業務の範囲	① 文化活動のための施設の提供 ② 集会のための会場の提供 ③ 県民の文化芸術の振興を図るための事業の企画及び実施 ④ その他文化会館の設置の目的を達成するための業務

(3) 施設の運営状況

年度	利用者(人) ※1	事業費等の内訳（千円）				
		指定管理料 (A)	その他維持 管理費(B) ※2	使用料等 県収入(C)	県の収支 (C-A-B)	(参考) 利用料金
令和2	14,683	149,501	43,307	64	△192,744	6,178
令和元	94,433	140,691	57,083	71	△197,703	20,704

※1 カウント方法：施設全体（大ホール、小ホール）の利用者数

※2 維持補修費、委託料、工事請負費、備品購入費（指定管理料に含まれているものを除く）

2 評価結果

(1) 管理運営状況評価

評価項目	評価	評価理由等
管理業務の実施状況に関する事項	A	千葉県立文化会館の設置及び管理に関する条例をはじめとする関係法令を遵守した管理運営を行った。個人情報適正に管理されていた。県への定期的な報告、日常の相談や連絡等も適切に行われた。
安全性の確保	S	舞台・照明・音響設備については、事前の動作確認を行い、事故防止の徹底を図った。新型コロナウイルス感染症対策について、独自のガイドラインを作成し、主催者との打合せ時に確認を行うなど、感染防止対策の徹底に取り組んだ。火災、地震等災害に備え、年2回の職員による総合防災訓練の実施、被害を最小限に食い止めるために「危機管理マニュアル」を作成するなど、利用者・来場者の安全確保に努めた。

	適切な管理運営	A	警備、清掃等は催し物の状況に応じて適当に実施されており、安全及び清潔な環境を提供した。また、利用者に対してのイベント運営や舞台創造の助言、あらゆる人が利用しやすい環境整備など様々な配慮に努めた。
	適切な財産管理	A	職員による日常点検、設置業者による定期的な保守点検を行い、安全な管理に努めた。施設内の不具合を発見した際は、県に速やかに報告するとともに、場合に応じて職員で対応するなど、適切に対処した。
事業の企画運営に関する事項	事業の実施 (必須事業) ※	S	文化芸術振興事業は30事業を計画し、新型コロナウイルス感染症の影響により、9事業が中止となり、感染防止対策を徹底した上で、21事業を実施した。夏休み期間中の文化会館探検ツアー、コロナで影響を受けた芸術家を支援するための実演芸術家支援事業、和太鼓の饗宴などの公演の動画配信を新たな取組として実施し、コロナ禍においても文化芸術振興を停滞させないため、工夫した事業展開を図った。
	サービスの向上 自主事業 地域の連携等	A	職員による積極的な支援など、ソフト面のサービス充実を心がけるとともに、利用者からの要望にも迅速に対応した。また、地元の幼稚園やこども園、児童養護施設でのアウトリーチ事業、地元の学校と連携したギャラリー展示、社会科見学の積極的な受入など、地域との連携を深め、地域の方に親しまれる会館運営に取り組んだ。
施設利用状況に関する事項		A	利用人数、利用率、利用料収入は、昨年度と比べ減少したが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や施設の利用制限等の影響を受けたものであり、やむをえないものと思われる。施設利用再開後は、感染防止対策の徹底を図った上で、ホームページ等による広報のほか、近隣学校に練習利用の案内をするなど、施設の利用促進に努めた。大ホール利用率は27.5%だった。
管理運営体制		A	会館を運営するために必要な組織、人員配置を整え、適切に運営した。人材育成として職員の資格取得や、危機管理、事業企画や舞台運営等、様々な研修への参加を奨励するなど、職員の能力の向上に努めた。
収支状況		A	収支は赤字となったが、新型コロナウイルス感染拡大に伴う臨時休館や施設の利用制限等の影響を受けたものであり、やむをえないものと思われる。新たな助成金獲得や経費削減などの努力の結果、赤字幅は最小限となっている。なお、指定管理者の財務状況は健全である。
利用者意見の反映 利用者満足度		A	フロアにアンケートボックスを設置し、利用者、来場者からの意見に対して、迅速に対応した。施設全体の満足度については、「満足」と「やや満足」で100%だった
総合評価		良好	各項目の合計点数 22点/30点(73%) 各項目の評価点数の平均点 2.2点

(2) 特記事項

特に評価される点	新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受けたが、地域の文化芸術活動を停滞させないため、感染防止対策を徹底した上で、工夫して文化事業の継続に取り組んだ。また、地域の様々な団体と連携し、文化資源を活用した事業展開を図るなど、今まで取り組んできた「文化芸術の力による復興支援」から、「地域復興」へと発展させ、心の復興に加えて地域の活性化につながる事業に積極的に取り組んだ。
次年度に向けて改善が望まれる点	引き続き、新型コロナウイルス感染防止対策を徹底し、利用者に安心して利用いただける会館運営を行うとともに、質の高いサービスの提供を継続すること。
前年度評価で改善が望まれると指摘された点とその改善状況	新型コロナウイルス感染防止対策については、業種別ガイドラインを踏まえ、指定管理者独自のガイドラインを作成し、主催者との打合せの際に配付し対策を確認するなど、感染防止対策の徹底に取り組んだ。

(3) 第三者評価におけるその他の意見

第三者評価は実施していない。